

河内長野を「観光まちづくり」で魅力アップ

#道の駅 #日本遺産 #楠公さん #国宝 #自然 #インバウンド #自転車…



● と き：2019年 **2月23日**（土）14:00～16:45

● と こ ろ：河内長野駅前市民センター（ノバティながの南館3階） 多目的ホール
南海／近鉄河内長野駅前（住所：河内長野市長野町5-1-303 電話0721-56-2360）

● 参加対象：河内長野の観光に関心のある方ならどなたでも歓迎です

● 参加費：無料

● **シンポジウム(A)**：

基調講演 島田智明氏 河内長野市長
パネルディスカッション

<パネラー>

永島全教氏 檜尾山 観心寺住職

山崎友起子氏 あまみ温泉南天苑 女将

天川麻子氏 atelier NOAHNOOR 代表

太口智裕氏 河内長野市環境経済部長

<コーディネーター>

小長谷一之氏 大阪市立大学大学院都市経営研究科長・教授

日本観光研究学会関西支部は、毎年度、地方自治体と連携し、地域の観光について語り合う地区懇話会を開催しています。2018年度は、河内長野市の協力のもとで開催することになりました。

河内長野市では、自然や歴史などの観光資源を背景に、近年、道の駅 奥河内くろまるの郷の開業や、国宝指定などが相次ぎ、日本遺産登録の申請や、大河ドラマの誘致活動も行われています。この機会に河内長野の観光の魅力や未来について語り合いたいと思いますので、奮ってご参加ください。

● **市内見学(B)** 9:30～13:45 頃

○募集定員：20名。バスで市内の主要な観光資源を見学します。解説付きです。

○参加費：無料。ただし、施設入場料と昼食代（buffetレストラン1500円）は各自でお支払いください。

○集合：9:30に南海／近鉄河内長野駅前の河内長野市観光案内所前

○コース：高野街道→天野酒（西條合資会社）→観心寺（国宝所蔵）→道の駅 奥河内くろまるの郷（昼食、買い物、自由に見学（花の文化園、木根館、ふるさと歴史学習館等））→南天苑（歴史的な和風建築の温泉宿）→シンポジウム会場（13:45頃到着予定）

● **懇親会(C)** 17:00～19:00 頃予定

○会場：三佳屋（高野街道沿いの古民家活用のレストラン）、シンポジウム会場から約5分。

○参加費：4000円程度予定 ○募集定員：30名。

主催：日本観光研究学会関西支部

協力・後援：河内長野市

お申込み方法は裏面を参照

★ 河内長野市内のおもな観光資源（見学コース上の観光スポット紹介）

● 高野街道

空海（弘法大師）が高野山を開いた平安時代以降、人々が参詣のために歩いた高野街道。主要な3ルート（東高野街道・西高野街道・中高野街道）が河内長野市で合流します。河内長野市は宿場町として栄え、今でも街道周辺には古い街並みや史跡が残っています。河内長野駅からほど近い酒蔵通りの風景も見どころです。



● 観心寺

大宝元年（701）に修験道の開祖・役行者によって開かれ、後に空海（弘法大師）が真言宗の道場とした寺院。境内には国宝の金堂をはじめ、多くの文化財が残されています。また、関西花の寺二十五番霊場等にも数えられ、四季折々の風景を楽しみに一年を通じて参拝客が多く訪れます。

● 道の駅 奥河内くろまろの郷

道の駅 奥河内くろまろの郷には、奥河内ビジターセンター、地産地消レストラン、JA 大阪南農産物直売所「あすかてくるで河内長野店」が併設されており、また周辺には、大阪府立花の文化園・森のサテライト木根館-kinkonkan-河内長野市林業総合センター・河内長野市立ふるさと歴史学習館などの施設が充実した、食べて・遊んで・体験できる、家族みんなの笑顔があふれるエリアです。



● 南天苑(国登録有形文化財)

南天苑本館は、堺大濱にあった『潮湯家族湯』を、昭和10年に、天見へそのままのかたちで移築し、高野山参詣のための温泉旅館にしたのが始まりです。前身である『潮湯家族湯』は、明治・大正時代を代表する建築家・辰野金吾氏が手がけ、現存する建築例としては、国内でも数少ない和風建築を今に伝えています。

【お申し込み方法】

- ・以下まで、必要事項を記入の上、メールでお申し込みください（定員を超えた際には、調整させていただきます）。
- ・必要事項：お名前、ご所属、住所、連絡先（メールアドレス）
それぞれの参加希望（シンポジウム（A）、市内見学（B）、懇親会（C））
- ・申し込み先：日本観光研究学会関西支部事務局 gakkai@kankoryoku.jp
- ・〆切：2019年2月13日（水）